

平成 31 年度
オリオン事業報告書

平成31年度 小規模保育事業所A型 オリオン事業報告書

1. オリオン運営状況

(1) 施設運営の法的根拠

社会福祉事業法第2条第3項による第2種社会福祉事業であり、児童福祉法第35条第3項による児童福祉施設として認可申請を受けている。

運営にあたっては、札幌市児童福祉法施行条例、札幌市子ども・子育て支援法施行条例（平成26年条例第48号）及びその他関係法令等を遵守するものとする。

(2) 施設の目的

児童福祉法の規定により「児童が心身ともに健やかに育成されるよう努めなければならない」（児童福祉法第1条）を掲げ、子ども・子育て支援法の規定に基づき、入所する子ども及びその保護者に対して適切な保育・教育を提供することを目的とする。

(3) 入所状況 定員19名

平成31年度 入所状況一覧(1日現在)

月	0歳児	1～2歳児	計
4月	1	13	14
5月	2	14	16
6月	3	14	17
7月	3	14	17
8月	3	14	17
9月	3	15	18
10月	3	15	18
11月	3	15	18
12月	4	16	20
1月	4	16	20
2月	4	16	20
3月	4	16	20
計	37	178	215

入所率 94%

2. 保育の内容

(1) 保育理念・保育目標・保育方針

◀ 保育理念 ▶ 感謝・謙虚・共感

◀ 保育目標 ▶

- ・よく遊び、夢に向かって生きる子ども
- ・豊かな感性をもち、人や自然、物を大切にする子ども
- ・自分で考え、行動できる子ども

《 保育方針 》

- ・人権に配慮し、一人ひとりの人格を尊重した保育を行う。
- ・子どもの発達に応じた人、物、場等の環境を構成し、工夫して保育を行う。
- ・専門性や保育園の特性を生かし、保護者、地域への子育て支援を行う。

(2) 保育の形態

0、1、2歳児は年齢別クラス編成で保育を行う。

(3) 保育内容の具体的展開

- ① 0歳児は日々個人記録をつけて、毎月の指導計画に活かした。
1歳児はグループ指導計画、個人記録を、2歳児は年間指導計画・月案・週案・個人記録を作成して基本的な生活習慣の自立を援助した。どの年齢の子どもに対しても個々の発達に合わせた保育を行った。
- ② 家庭的環境、雰囲気の中で一人一人の欲求を満たしたり、信頼関係を構築したりして、心身ともに健康で安定した情緒を育む保育に取り組んだ。
- ③ 家庭との連絡を密にし、快適な環境の中で食事・睡眠・排泄など一人一人の生活リズムを整えて、安心して過ごせるよう配慮した。
- ④ 室内環境を工夫し、発達に合わせた良質の玩具を用意した。
- ⑤ 毎日、絵本の読み聞かせを行い、豊かな感性と豊かな心を育んだ。
- ⑥ 戸外遊び・散歩を取り入れ、自然に触れ自然現象への関心を高めるとともに、丈夫な体づくりを推進した。
- ⑦ 障がい児保育は発達の遅れや様々な障害を理解して健常児と一緒に保育をすることで双方の健全な発達を促していく。今年度認定児は0名だった。
- ⑧ 時間外保育は一人ひとりの子どもの心身の状態に十分に配慮し、安心して過ごせるように配慮した。

保育標準時間の時間外	18時から19時までの範囲内
保育短時間の時間外	(1) 7時から8時までの範囲内 (2) 16時から19時までの範囲内

時間外保育利用児実績数（延べ人数）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	25	36	40	15	28	5	11	9	14	8	12	15	218

3. 健康管理

嘱託医と連携を図り、健康管理、病気の早期発見に努めて感染症等に適切に対処

し健康な生活を過ごせるように努めました。

- ・ 内科検診 年2回 平成31年6月28日・11月1日 実施
- ・ 歯科検診 年1回 平成31年5月21日 実施

4. 給食

- ① 乳幼児の心身の成長発達と健康保持増進の一環として給食を提供し子どもへの食育に繋げた。
- ② 栄養士が作成した献立を基本とし、カロリーや栄養のバランスに配慮した食事を提供した。また、温かい食事と手作りおやつに心がけた。
- ③ 食物アレルギー児対応は保護者と連携を図り、全職員の共通理解のもとに進めた。また、調理室と保育士の二重の確認を徹底した。
- ④ 全職員が「衛生管理マニュアル」を周知して、それに基づき衛生管理を徹底した。

5. 安全防災

- ① 避難訓練計画を全職員で立案して毎月実施し、災害時の子どもの誘導や対処方法を確認した。それにより、子どもの安全確保の意識が高まった。
- ② 自主検査票（日常・定期）を使用し、避難口・避難経路、火器設備器具、電気設備、その他危険物等を細かくチェックして危険と安全の確認を行った。
- ③ 「防災対応マニュアル」を作成し、地震・火災・風水害・台風・その他トラブル時の対応について職員研修を行い、何か起こっても慌てず適切な対応ができるように日々心がけながら保育にあたった。

6. 諸会議

- ① 職員会議、保育会議、クラス会議、研修会議を定例（月1回）に行うことで、円滑な園運営ができた。会議後、議事録により全職員に回覧して周知した。

7. 職員研修

- ① 園内研修として『児童の発達に応じた食事』をテーマに1年間研究に取り組んだ。健やかな子どもを育成するために、どのような食事をどの時間に提供するか、誤嚥をせず喜んで食べてもらえるような栄養ある食事内容やその時の保育士の役割などを話し合い、意見交換や実践を確認して子どもの食の安全や適切な食事内容の研究をした。
- ② 「法人合同研修会」では他園の研究報告を学び、資質の向上に努めた。
- ③ 園外研修は経験年数に合わせた専門分野に参加し保育実践・保護者対応に活かした。職員の資質と職務能力を高め、乳児保育園の役割の大切さを改めて認識した。

8. 苦情解決状況 ・ 苦情受付数1件

9. 個人情報保護

法人の「個人情報管理規定」及び「特定個人情報取り扱い規定」に基づき適正に取り扱いました。

10. 事故対策

- ① 「安全管理マニュアル」を活用し、誤飲・誤嚥・ケガ等の事故防止対策を話し合対策を強化した。
- ② 毎日の打ち合わせの中で事故報告を行い、原因、対策を話し合い全職員で周知し再発防止に努めた。事故は子どもの発達特性と関係しているため、子どもの心身の状態を保育会議と打ち合わせ中で報告し、共有して事故予防に努めた。

11. ボランティア受け入れ

専門学校（経専北海道保育専門学校）から授業の一環として実施しているボランティアの学生を、年間を通して2名6回の受け入れを行った。保育者養成のために、今後も受け入れていく。

12. 年間行事

日々の保育に変化をつけ、子どもたちのよりよい成長につながるように行事を計画し実施した。

(6) 行事実施報告

月	行 事		行 事
4月	2日 入園式	10月	12日 焼き芋会
5月	2日 子どもの日お楽しみ会 21日 歯科検診	11月	1日 内科検診 10日 生活発表会 14日 白ゆり南あいの里施設訪問（2歳児）
6月	21日 お楽しみ会 28日 内科検診	12月	5日 ミニ餅つき会 6日 白ゆり南あいの里施設訪問（2歳児） 21日 クリスマス会
7月	9日～13日 個人懇談週	1月	18日 白ゆり南あいの里施設訪問（2歳児）
8月	7日 七夕お楽しみ会	2月	1日 節分お楽しみ会 11日～14日 個人懇談週 18日 白ゆり南あいの里施設訪問（2歳児）
9月	14日 白ゆり南あいの里施設訪問（2歳児）	3月	1日 ひな祭りお楽しみ会 19日 白ゆり南あいの里施設訪問（2歳児） 15日 お別れ会

- ★ 毎月、避難訓練・身体測定実施。
- ★ 誕生会は、一人ひとりの誕生日当日にクラス毎でお祝いする。
- ★ 地域との交流・・・近郊の高齢者グループホームを訪問し交流する。